

【事業者名： 役職： 氏名： 】

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令試験問題

下記の問題は一般旅客自動車運送事業に関する記述です。
正しいものには○、誤っているものには×を回答欄に記入して下さい。
また、()内にあてはまる語句を、下のA, B, Cから選んで回答欄に記号で記入して下さい。

1. 道路運送法は、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする 것을 目的としており、利用者の利益の保護・増進は目的としていない。

道路運送法第 1 条

2. 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過していない者であっても、貸切バス事業に限り許可を受けることができる。

道路運送法第7条 回答 (×)

3. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可の更新の申請があつた場合において、有効期間の満了の日までにその申請の処分がなされないときは、従前の一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、有効期間の満了後もその処分がなされるまでの間は、なおその効力を有する。

道路運送法第8条 回答 (○)

4. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の運賃及び料金の上限を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

道路運送法第9条の2 回答 (×)

5. 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、収受した運賃又は料金の割戻しをしてはならない。

道路運送法第10条 回答 (○)

6. 一般旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに運送約款を公示しなければならないが、貸切バス事業者は例外とされている。

道路運送法第 12 条 回答 (×)

7. 貸切バス車両をいわゆる「禁煙バス」とする場合、その旨を事業計画に定め、道路運送法の規定に基づく認可を受ける必要がある。

道路運送法第 15 条 回答 (×)

8. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、災害の場合その他緊急を要するとき及び一般乗合旅客自動車運送事業者によることが困難な場合において、一時的な需要のために国土交通大臣の許可を受けて地域及び期間を限定して行うときに限り、乗合旅客の運送をすることができる。

道路運送法第 21 条 回答 (○)

9. 一般旅客自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。

道路運送法第22条 回答 (○)

10. 安全統括管理者は事業運営上の重要な決定に参画する管理的地位にある者であれば、要件を備えていない者でも選任することができる。

道路運送法第22条の2 回答 (×)

- 1 1. 一般貸切旅客自動車運送事業者は営業所ごとに最低 1 名の運行管理者を選任する義務があるが、事業用自動車 が 3 0 両以上の営業所では、事業者の判断により運行管理者の数を増やす必要がある。

道路運送法第 2 3 条 回答 (×)

- 1 2. 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。

道路運送法第 3 0 条 回答 (○)

- 1 3. 国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業者の事業について旅客の利便その他公共の福祉を阻害している事実があると認めるときは、一般旅客自動車運送事業者に対し、事業計画を変更することを命ずることができる。

道路運送法第 3 1 条 回答 (○)

- 1 4. 一般旅客自動車運送事業者が死亡した場合において、相続人が被相続人の経営していた一般旅客自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後 9 0 日以内に、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

道路運送法第 3 7 条 回答 (×)

- 1 5. 一般貸切旅客自動車運送事業者が許可に付された条件に違反したときは、許可の取り消しを受ける場合がある。

道路運送法第 4 0 条 回答 (○)

- 1 6. 国土交通大臣は、必要な限度において道路運送事業者、自家用有償旅客運送者その他自動車を所有し、若しくは使用する者又はこれらの者の組織する団体に、国土交通省令で定める手続きに従い、事業、自家用有償旅客運送の業務又は自動車の所有若しくは使用に関し、報告をさせることができる。

道路運送法第 9 4 条 回答 (○)

- 1 7. 旅客自動車運送事業者は、苦情の申し出を受け付けた場合には、その記録を 3 年間保存しなければならない。

旅客自動車運送事業運輸規則第 3 条 回答 (×)

- 1 8. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送を引き受けた場合には、遅滞なく、当該運送の申込者に対し、運送引受書を交付しなければならない。

旅客自動車運送事業運輸規則第 7 条の 2 回答 (○)

- 1 9. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している旅客のために、旅客の運送を継続すること、旅客を出発地まで送還すること等、適切な処置をしなければならない。

旅客自動車運送事業運輸規則第 1 8 条 回答 (○)

- 2 0. 旅客自動車運送事業者は、運転者の酒気帯びの有無の確認のためにアルコール検知器を用いる必要があるが、アルコール検知器が故障してしまった場合はこの限りではない。

旅客自動車運送事業運輸規則第 2 4 条 回答 (×)

- 2 1. 貸切バスの運転者等は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。また、運行指示書は運行の終了の日から三年間保存しなければならない。

旅客自動車運送事業運輸規則第 2 8 条の 2 回答 (○)

- 2 2. 旅客自動車運送事業者は、二月以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。

旅客自動車運送事業運輸規則第 3 6 条 回答 (○)

- 2 3. 旅客自動車運送事業者は、運転者に対して適切な指導監督を行い、その日時、場所等を記録し、その記録を 1 年間保存しなければならない。

旅客自動車運送事業運輸規則第 3 8 条 回答 (×)

- 2 4. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任又は解任した場合及び運行管理者の補助者を選任又は解任した場合は、当該届出事由の発生した日から 1 5 日以内に届け出なければならない。

旅客自動車運送事業運輸規則第 6 8 条 回答 (○)

- 2 5. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款では、運行行程の変更その他の事由により当該運送に係る運賃及び料金に変更を生じたときは、速やかに精算するものとし、その結果に基づいて、運賃及び料金の追徴又は払戻しの措置を講じることとされている。

一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款 回答 (○)

- 2 6. 改善基準告示でいう拘束時間とは、労働時間のことをいい、休憩時間は含まれない。

自動車運転者の労働時間等の改善のための基準 回答 (×)

- 2 7. 新規登録を受けた自動車について使用者の変更があったときは、新使用者は、その事由があった日から 1 5 日以内に、国土交通大臣の行う移転登録の申請をしなければならない。

道路運送車両法第 1 3 条 回答 (×)

- 2 8. 大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から三十日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。これを変更したときも同様である。

道路運送車両法第 5 2 条 回答 (×)

- 2 9. 一般貸切旅客自動車運送事業者が使用する自動車が 5 人以上の重傷者を生じる事故を引き起こした場合は、2 4 時間以内においてできる限り速やかにその事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならない。

自動車事故報告規則 回答 (○)

- 3 0. 事業者における輸送の安全の確保の取組を活性化させ、より効果的なものとするためには、経営トップが主体的かつ積極的に関与し、強いリーダーシップを発揮することが極めて重要である。

運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン 回答 (○)

3 1. 一般貸切旅客自動車運送事業は、一個の契約により乗車定員（ ）人以上の自動車を貸し切って旅客を運送する事業である。

A. 9 B. 10 C. 11

道路運送法第3条、道路運送法施行規則第3条の2 回答 (C)

3 2. 旅客自動車運送事業運輸規則は、旅客自動車運送事業の適正な運営を確保することにより、輸送の安全及び（ ）の利便を図ることを目的とする。

A. 事業者 B. 従業員 C. 旅客

旅客自動車運送事業運輸規則第1条 回答 (C)

3 3. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送引受書の写しを運送終了の日から（ ）年間保存しなければならない。

A. 1 B. 3 C. 5

旅客自動車運送事業運輸規則第7条の2 回答 (B)

3 4. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事したときは、運転者名、乗務の開始及び終了の地点及び日時等のほか、（ ）を運転者等ごとに記録させなければならない。

A. 旅客の氏名 B. 旅客の数 C. 旅客が乗車した区間

旅客自動車運送事業運輸規則第25条 回答 (C)

3 5. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、（ ）ごとに運行指示書を作成しなければならない。

A. 運転者 B. 車両 C. 運行

旅客自動車運送事業運輸規則第28条の2 回答 (C)

3 6. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを（ ）年間保存しなければならない。

A. 1 B. 2 C. 3

旅客自動車運送事業運輸規則第37条 回答 (C)

3 7. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を（ ）しなければならない。

A. 常に清潔に保持 B. 可能な限り清潔に C. 運行のたびに清潔に

旅客自動車運送事業運輸規則第44条 回答 (A)

3 8. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、貸切バスの（ ）に対して、安全運行の確保のために必要な行程作成や契約上の留意点への理解と十分な配慮を求めることにより、安全をより確実にすることを目的としてい

A. 事業者 B. 運転者 C. 利用者

輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン 回答 (C)

3 9. 旅客自動車運送事業者は、事業年度の経過後、（ ）日以内に「事業報告書」を行政庁に提出する義務がある。

A. 50 B. 100 C. 150

旅客自動車運送事業等報告規則 回答 (B)

4 0. 1日の休息期間は、勤務終了後、継続11時間以上与えることを基本とし、継続（ ）時間を下回ってはならない。

A. 7 B. 8 C. 9

自動車運転者の労働時間等の改善のための基準 回答 (C)